

八代高校・八代中学校PTA会報

<https://yatsushirohighschool.com/>



▲ホームページQRコード

特集1 PTA新役員紹介

特集2 芸術が躍動する
素晴らしい廊下

- 総体・中体連結果
- 自転車安全利用五則



白鷺吟

前PTA会長(本年度顧問) 富晃之介



子どもが八代中学校に入学してから令和2年度まではPTA監査として、令和3年度・4年度は本校PTA会長という大役を頂き、生徒、保護者の皆様、先生方、地域の皆様にお世話になりました。

令和5年度はPTA顧問としてお手伝いをさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大や豪雨災害で地域社会が揺れた令和2年7月、当時の松永校長先生、今田PTA会長のご協力を頂き、本校PTAのもとにインターアクトクラブ(国際理解、地域社会貢献を柱とする奉仕クラブ)を創設させていただきました。以後、PTAご担当の吉岡先生や先生方に多大なご協力を頂き、各種活動をさせていただきました。本校にインターアクトクラブを作りたいたったのは、熊本県南地域の中高一貫教育の核となるべき本校において、学習面の向上は先生方にお任せするほかに、本校生徒と地域社会を結び付け、本校の地域社会における存在意義を高めていくことについては我々保護者にもできることがあるのではないかと考えたからです。

これまでどおりのPTA活動という意味では、新型コロナウイルス感染症の影響で活動の中止や変更を余儀なくされることがたくさんありましたが、インターアクトクラブを通じて市内各所の清掃活動、花植えボランティア、豪雨災害関連のボランティア、スポーツ大会への参加、保育園ボランティアなどにおいて、いろいろな生徒さんと話ができて、生徒の皆さんの活躍を知ることができて、個人的には有意義で楽しいPTA活動ができたように感じています。

八代中学校、八代高校は、これからも県南の教育の核としてより一層の発展が望まれると思いますので、先生方と保護者が一体となって、生徒の皆さんと連携し、本校の価値がより高まっていけばと思います。同時期に大切なわが子が同じ学び舎で生活するという縁を大切にしたいので、皆さんで本校をよりよい学校にしていければと思います。皆さんお忙しい中ですが、「できるしこ」でよいので、PTA活動にも関わりを持っていただければ幸いです。

ありがとうございました。

特集1 令和5年度 PTA新役員紹介

就任のご挨拶



PTA会長
金橋 俊雄

令和5年度の八代高校・八代中学校PTA会長を仰せつかりました金橋と申します。

慣れない大役でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、先生方や本部役員の皆様、保護者の皆様と一緒に子どもたちのためになる活動を行っていききたいと思っておりますので、一年間どうぞよろしくお願いたします。

さて、近年はコロナ禍により、学年行事やPTAの活動にも様々な影響が生じ、子どもたちも本来であれば経験できたはずのことが制限されてしまうことも多くあります。ただ、そのような環境の中でも子どもたちは、勉強に部活動に一生懸命頑張ってきました。その頑張りをお支え（サポート）するのが、私たち保護者の役目だと思っております。学校側と一体となつて、夢に向かって努力している子どもたちをお支え（サポ

ト）していきたいと思っております。

PTA活動に関しては、まずは本部役員やクラス委員をお引き受けいただき、感謝いたします。共に楽しみながら活動していきましょう。

役員・委員以外の保護者の方々も、子どもをお支え（サポート）する点においては、役員云々は関係ありません。私たち保護者が、本校の子どもたちをみんなで応援（サポート）してあげましょう。

そのためには、保護者の共通理解が必要となりますので、学習の機会や様々な研修会・講演会、そしてふれあい（親睦）活動等々、ご協力やご案内をいたしますので、遠慮なさらずに、様々な活動（学校行事及びPTA活動）に参加し、学校に足を運んでください。子どもたちの学校での様子や頑張りをお支え（サポート）の目で見たいと思っております。

ご案内した際は、是非ご参加ください。

また、本校PTAのもとに設置している「やつしろインナーアクトルクラブ」では、他校PTAや地域団体と連携して、本校の生徒たちが地域においていろいろなつながりを

持ち、地域に貢献できるように働きかけています。それらの活動により、地域における本校の価値を高め、在校生の学校生活の充実や卒業生の誇りを高め、本校に入学したいと思う生徒保護者さんを増やしていきたいと思っております。

これからも、子どもたちが明るく、楽しく、安心して学べる環境が充実するようにPTA活動を意義あるものにしていきたいと思います。一生懸命努めて参りますので、皆様のPTA活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願申し上げます。

各委員会活動 今年の抱負



副会長(全学年)
中西 陽一

今年度、副会長（全学年）を務めさせていただきます、中西陽一と申します。

早いもので、最終学年となりました。金橋新会長のもと、八高生の為に微力ながらお手伝いができればと思っております。生活様式も少しずつコロナ前に戻りつつありますが、先生方とも協議しながら、子供たちのためのPTA



財務会計
平田 仁美



書記長
萩野 賢志



副会長(中学全学年)
岡崎 晶

活動はもちろんですが、保護者同士の交流も深まるようなPTA活動ができればと思います。

何分不慣れなもので、至らない点が多くあるかもしれませんが、皆様の力をお借りして、頑張りたいと思っております。よろしくお願いたします。



監査
本田 弘幸



監査
瀬高 輝大



監査
高田 一博



顧問
篠原 秀和

今年度、副会長（研修委員会）の役を預かります守田と申します。

あまり大きな役は苦手でこの方参りましたが、子どもが過ごす学び舎と一緒に関わる方々同士、より良いコミュニケーションが築けるよう協力し合おう一員でありたいと思っております。そのような認識に立つことで、この役を預からせてい



副会長(研修委員会)
守田 典子

ただければと考えました。5月に入り、ようやくWHがパンデミック緊急事態の終了を告知したと聞きます。「ステイ・ホーム」が過去の言葉となり、人と人との交流や集いが人の生活や時に人生を支える力を取り戻す事になるのかも期待します。

この数年種々の機会が失われる中、子どもにとって、一年一年の機会の貴重さが身に沁みる思いもしました。親としての機会もまた同様かも知れません。

何か素敵な機会づくりとして、研修を考えられたらと思います。どうぞお力添えよろしくお願いいたします。



副会長(保健体育委員会)
宮田 康治

この度、副会長(保健体育委員会)を務めることとなりました宮田です。

ここ数年、コロナウイルス感染症拡大防止によりほとんど活動ができておりませんでした。今年ではできる限り活動を再開できればと考えております。

今後行いますPTA活動については学校と協議を行い、行事を行う際は、感染症予防対策をしっかりと整えたいと思

で、安心・安全なPTA運営に取り組み予定です。そこで例年開催しておりますPTA親睦球技大会、行内長距離走大会支援など、実施するにあたりましては保護者皆様のご協力が必要となります。私も微力ながら頑張っていきますので、今後のPTA活動に對しましてご理解とご協力をよろしく申し上げます。



副会長(広報委員会)
鈴木 晋一

令和5年度の副会長(広報委員会)を務めさせていただきます。微力ながら、生徒の様子やPTA・後援会活動を伝えられるよう、努めてまいります。よろしくお願いいたします。

長い間、不安や制約の中で生活されてきた皆様にとって、コロナ禍が収まりつつあることは心から喜ばしいことと思ひます。感染症対策を講じて、以前のように戻っていく様子をたのしみにしています。

広報誌に加え、ホームページや、グーグルクラスルームなどを活用して、たくさんの活動を皆様にお届けできれば

と思ひます。皆様からの投稿もお待ちしております。個人情報等の扱いには、十分配慮し発信してまいります。一年間、よろしくお願ひいたします。

各学年委員長挨拶

● 高校3学年 ●



古田 浩一

本年度、高校3学年委員長を務めさせていただきます、古田と上村です。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に変更され、PTA活動が積極的にできる年です。

コロナによって控えていたPTA活動を、取り戻すように活動したい気持ちはありますが、今年度は、生徒の皆さんにとって一番大切な年になります。

私たち保護者は、生徒の皆さんの夢が叶うことが一番の幸せです。生徒の皆さんが夢に向かって、頑張れる環境を作ること、一番の目的において、活動していきます。保護者同士のつながりも大

切にしながら、生徒の皆さんの応援者として一年間頑張ります。

● 高校2学年 ●



高野 洋介



加藤 里咲子

この度、高校2学年委員長を務めさせていただきます、高野と加藤です。

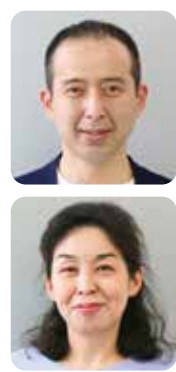
子どもたちが高校に入学してあつという間に1年が過ぎました。目標を持って頑張っている子どももいれば、定まらずに不安な子どももいることと思ひます。

様々な心の揺れを体験することも含め、この高校2年生で多くの経験を積み重ね、自分で考え前に進んでいってほしいと願ひます。

そのためにも子どもたちに寄り添い、家庭と学校が連携して子どもたちをサポートしていくことが必要だと思ひます。

今年度、2学年スローガンにも掲げておられる「挑戦する(から道が開ける)」子どもたちのために、保護者の皆さまと協力し様々なご意見をいただきながら、子どもたちを支え応援していきたいと思ひます。一年間よろしくお願ひいたします。

● 高校1学年 ●



吉本 直樹



岡田 裕美

今年度、高校1学年委員長を務めさせていただきます、吉本と岡田です。

昨年度末までは、新型コロナウイルス感染症拡大により多くの活動制限や規制を強いられ中学校生活を送ってきた子どもたちですが、八代高校での生活も1ヶ月が経ちました。

また、子どもたちは新しい環境の中で、不安を抱えつつも先生方、先輩方、新しい同級生に恵まれ、充実した学校生活を送っています。

新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に変更され、いろいろな学校行事、部活動行事、PTA行事が行えるものではないかと思ひます。その時には、保護者の皆様からお力添えを頂き一緒に活動していきたいと思ひます。

子どもたちが今後の目標に向かって進んでいけるように、先生方をはじめ、保護者の皆さまと精一杯サポート、活動ができればと思ひます。一年間よろしくお願ひいたします。



● 中学3学年 ●

土井理 角口明美



本年度、中学3学年委員長を務めさせていただきました。土井と角口です。

学校に足を運ぶと、子どもたちのほじける笑顔に癒されながら、保護者として、こうした時間や空間を守っていかねければと感じます。

子どもたちが笑顔で学校に通える為に、どんな小さなことでも構いません。お気軽に声をかけていただき、ご意見やお知恵を拝借させていただきます。

今年度は今まで制限されていた行事も対策を行いつつ開催されることでしょうか。

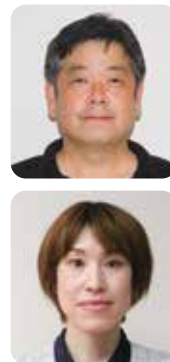
本来であれば子どもたちが経験できたはずのことを、ここ数年多く制限され我慢したこともありました。

少しずつではありますが今までできなかったことのサポートができたらと考えております。

残り少ない中学生生活を子どもたちが楽しんで思い出に残せるよう、保護者の皆様にご協力いただけたら幸いです。

● 中学2学年 ●

塚本慎一郎 清田紗弓



本年度、中学2学年委員長を務めさせていただきました。塚本と清田です。

新型コロナウイルス感染症も感染症法上の位置付けが5類感染症に変更され、マスク制限も無くなり子供達もお互いの顔を見る機会も増えて楽しい学校生活を楽しんでいるようです。

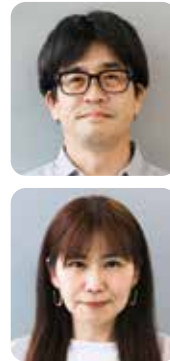
今年度は学校行事もほぼ元に戻ると思います。コロナと共に卒業入学を経験し、マスク無しの方にまだまだ違和感がある様子ではありますが、少しずつでも日常生活に戻っていかれたらと願うばかりです。

中学2年生の大きな行事として「立志式」が待っています。大人への第一歩の大きな節目です。保護者としても人生の先輩としてもサポートが必要ですね。

子供達が笑顔で楽しい学校生活を送れるよう微力ですがPTAとして頑張っていきたいと思っておりますので、皆様のご理解ご協力をよろしく申し上げます。

● 中学1学年 ●

古閑迫修 遠山友梨香



本年度、中学1学年委員長を務めさせていただきました。古閑迫と遠山です。

中学1年生の皆さんは入学し、希望と不安の中すぐに集団宿泊訓練がありましたね。

新しい環境や友達、そして勉強や部活動にと新生活に慣れるのに精一杯で、毎日本当に頑張っていると思います。

中学生活がスタートし、たくさん新しい挑戦をする一年間になります。時には「しんどい」とか「つらい」と感じる人もいるかと思いますが、もし、だれかの不安に気付いた時は、自分からその人に声を掛け合えるような、優しい人間関係を広げていけるような心の成長も願っています。

ようやく新型コロナウイルス感染症も収束傾向となり、これまで制限や縮小を余儀なくされていた学校行事なども通常の活動へと移行し、1年生が思う存分に力を出し、皆で楽しめる様になると期待しつつ、その手助けができればと思っております。先生方と保護者の皆様が一丸となり、生徒達が充実した学校生活を過ごせるよう、応援・サポートをしていきます。

5/13(土)

令和5年度総会開催

去る5月13日に令和5年度八代高校・八代中学校PTA後援会総会が開かれました。今年度も、新型コロナウイルスの影響を鑑みて体育館に一同に集まる方式でなく、各教室においてWEBにて参加をしていただく方式といたしました。

議決権行使及び議案に関する質問をお寄せいただき、ありがとうございました。本会は本年度も引き続き、生徒の安心安全・学校生活の充実、地域とのつながりを図れるよう努めてまいります。



令和5年度 熊本県高等学校総文・総体ポスター・図案募集 佳作



総文/森綾美さんの作品



総体/萩嶺安穩さんの作品

管理棟、校長室前の廊下には、今年度
入選したポスターが飾られています。



玄関を入るとまず目にするのは、上村
光さんの作品。題名は「Asperges (ア
スペルジユ)」。

特集2 芸術が躍動する 素晴らしい廊下

技術棟2階の廊下には、書道部員の作品がずらりと並んでいます。どれも迫力ある作品です。ご来校の折にはご鑑賞ください。



- ① 八代高校校歌 釈文：一途の道歩け/宮本真菜さん
- ② 碧の海/久保田向葵さん
- ③ 臨 鬘宝子碑/山本太功磨さん
- ④ 徐璲詩「秋日江館寫懷」/西村藍来さん
- ⑤ 正岡子規の句/岩田彩里さん・徳永里依さん・春野薫子さん・松永留奈さん・山内杏花さん
- ⑥ 劉成美詩「南還道中」/松本詩音さん
- ⑦ 許心辰詩「松陵道中」/丸下藍さん
- ⑧ 謝鐸詩「桃溪」/中村美由姫さん・森彩音さん
- ⑨ 呉與弼詩「黃嵐坑」/川本愛理さん・西村彩花さん
- ⑩ 亜門里三詩「微笑むディアナ」/上野陽向さん

令和5年度 総体(上位大会出場分)・中体連結果 (敬称略)



総 体	
陸上競技部	
● 男子 走幅跳	優勝 上村 蒼月 【南九州大会 1位 ▶ インターハイ出場】
● 男子 110mH	5位 下松谷 柊 【南九州大会出場】
● 女子 800m	3位 大場 瑞樹 【南九州大会 4位 ▶ インターハイ出場】
水泳部	
● 女子 100m自由形	8位 園田 煌梨 【九州大会出場】
● 男子 100m背泳ぎ	6位 木村 亮太 【九州大会出場】
● 女子 100mバタフライ	6位 園田 煌梨 【九州大会出場】
● 男子 100mバタフライ	2位 財木 凌 【九州大会出場】
● 男子 100m平泳ぎ	優勝 加甲 泰聖 【九州大会出場】
● 男子 4×100R	5位 加甲、酒井、木村、財木 【九州大会出場】
● 男子 200m背泳ぎ	6位 木村 亮太 【九州大会出場】
● 男子 200mバタフライ	4位 財木 凌 【九州大会出場】
● 男子 200m個人メドレー	6位 松岡 長志 【九州大会出場】
● 男子 200m平泳ぎ	優勝 加甲 泰聖 【九州大会出場】
● 女子 200mバタフライ	8位 高良 愛琉 【九州大会出場】
● 男子 4×100mメドレーリレー	3位 木村、加甲、財木、酒井 【九州大会出場】

中 体 連	
陸上競技部	
● 2年男子 1500m	優勝 池田 翔一
● 2年男子 100m	2位 平松 観言
● 2年男子 100m	3位 古川 咲空
● 低学年女子 4×100mリレー	優勝 右山 凜乙、松本 心愛、遠山 愛美、西田 桃子
● 3年女子 800m	3位 濱田 真海子
● 1年女子 100m	3位 遠山 愛美
バスケットボール部	
● 女子	3位
サッカー部	
●	準優勝
バレーボール部	
● 女子	3位
柔道	
● 男子66kg個人	3位 機 誠斗 【県大会出場】
テニス	
● 男子シングルス	(雨天中止) 有菌 佑太 【県大会出場】
剣道	
● 女子個人	準優勝 久武 真維 【県大会出場】

富山真嗣、井上大靖、酒井裕夢の3人もリレーメンバーとして九州大会に出場

道路交通法改正により令和5年4月1日から、全ての自転車利用者についてヘルメット着用が努力義務となること等を踏まえ、「自転車安全利用五則」が改定されました。安全利用五則を守って、安全運転に努めましょう。

改定した 自転車安全利用五則 を守りましょう!

1 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先

「車の仲間」である自転車は、歩道と車道の区別がある道路では車道通行が原則です。車道を通行する場合は、左側に寄って通行しなければなりません。



「普通自転車歩道通行可」の標識・標示がある場合、普通自転車は歩道を通行できます



歩道を通行できる場合は、車道寄りの部分をすぐに停止できる速度で通行します。歩行者の通行を妨げるときは一時停止しなければなりません。



2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認

信号機のある交差点では、信号に従って安全を確認し通行しましょう。



道路標識等により、一時停止すべきとされている場所では、必ず一時停止し、安全を確認しましょう。



3 夜間はライトを点灯

夜間は必ずライトを点灯しましょう。



4 飲酒運転は禁止

自転車も飲酒運転は禁止です。



5 ヘルメットを着用

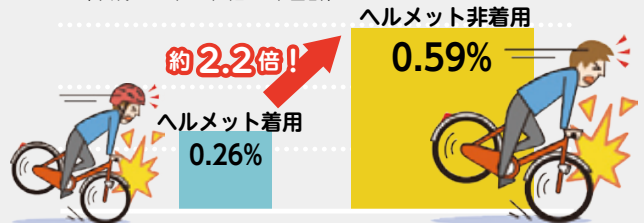
自転車を利用するすべての人は、自転車事故による被害を軽減するために、乗車用ヘルメットを着用しましょう。幼児・児童を保護する責任のある人は、幼児・児童を自転車に乗せるときには、乗車用ヘルメットを着用させるようにしましょう。



ヘルメットはあなたの命を守ります!

ヘルメット非着用で自転車事故により亡くなった人の約6割は頭部を損傷しています(平成29年~令和3年合計)。また、ヘルメット非着用時の致死率は、着用時と比べて約2.2倍も高くなっています。自転車事故による被害を軽減するためには、頭部を守ることが大変重要です。

◆自転車乗用中のヘルメット着用状況別の致死率 (警察庁資料より)



※致死率とは死傷者のうち死者の占める割合をいう。